

松くい虫の撲滅をめざして

空中散布を実施

薬剤の飛散にご注意を

松林の大敵である松くい虫が、緑の美しい本町を襲撃にしようとする侵入のスキをうかがっています。そうはさせじと本年度より三か年の計画でヘリコプターによる空中散布を行います。使用する薬剤の毒性は低いとはいえ、人体にかかるとよいとは言えません。くれぐれも薬剤にかからないようご注意ください。



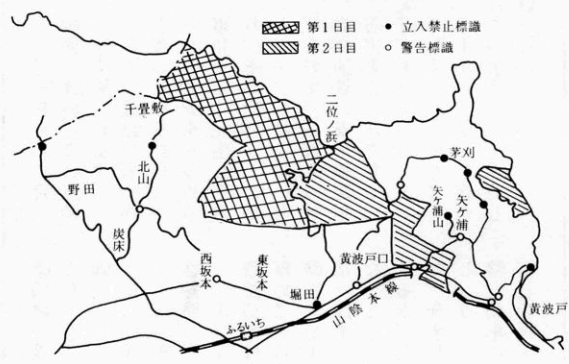
が最近、松くい虫によってこれらの松が点々と枯らされ、その被害は黄波戸、矢ヶ浦、茅刈一带の海岸線を中心に、大内山周辺にまで及んでいます。

**散布は6月4日・5日
6月18日・19日の2回**

被害の中心は黄波戸、茅刈、大内山一帯
松は古くから私たちの心や暮らしの中に永く生き続けてきた、もともなじみの深い樹木です。そして本町では、森林面積の六十％が松で占められています。ところが

松くい虫の被害とは——
このように松を枯らす犯人は、マツノザイセンチュウと呼ばれる長さ〇・六〜一mmの小さな線虫で人間の寄生虫である回虫やきょう虫と同じ仲間のもので。これが松の樹脂道に入り樹脂細胞を破壊し水分の通路を阻害して、松を萎凋、枯死させるのです。そして、このマツノザイセンチュウを運搬するのがマツノマダラカミキリなのです。

空中散布実施区域



空中散布の目的は——

そこで、センチュウの運び屋であるカミキリが飛び出す時期に、ヘリコプターによって松の枝に薬剤を散布しておき、センチュウを体につけて飛んできたカミキリを薬剤の付いた枝に触れさせて殺すのが、空中散布の目的です。その時期は、当地では六月上・中旬とされています。その他にカミキリを

殺す方法として、幼虫の潜んでいる被害木を伐倒して駆除するやり方が一般的に行われています。これも大切な松くい虫被害の防止法です。
つまり、予防(空中散布)と駆除(被害木伐倒)を両立させてこそ、松くい虫被害の撲滅がはかれるのです。

散布はいつ——

カミキリの発生初期と最盛期の二回行います。一回目は六月四・五日で、二回目は六月十八・十九日です。時間はいづれも午前四時過ぎより十時頃までです。ただし当日散布できないときは順延となります。
散布面積は三百haで別図のとおりです。

使用薬剤は——

散布する薬はスミチオン乳剤で、一haあたり三十ℓの希釈液を散布します。この薬は、他の農作物にも使われている一般的なものです。

注意することは——

- 散布中は散布地域へ立ち入らないでください。散布後も一週間程度は林内に入らないようにしてください。
- 散布地周辺に自動車を駐車しないでください。
- 散布地周辺では、洗濯物はとりこんで窓を閉め、井戸には覆いをしてください。
- 別図のとおり「立入禁止」及び「警告」の標識をたてておきます

が、監視人がおられる場合は、その指示にしたがってください。

消防だより



▼災害のない明るい町に▲ 梅雨(つゆ)に備えて

うっとうしい梅雨期が近づいて来ました。毎年この時期は、長雨や集中豪雨による水害が各地で発生していますので十分に注意をしてください。
● ガケくずれの危険のある箇所は早急に補修をすること。
● 河川付近に家がある場合は、集中豪雨のときは水位に十分注意をすること。
● 側溝や、下水管の掃除を行い常に排水をよくしておくこと
● 水害時に備えて、避難場所等はあらかじめ家族みんなで話し合っておくこと。

▼早い通報少ない被害▲

長門地区消防本部・消防署
TEL (〇八三七二) 二一三一一一
西部出張所
TEL (〇八三七三) 二一一三〇